

豊かで 住みよい 町づくり

上勝

Vol.

101

議会だより

2026. 5. 1 発行

- 2P 第1回定例会 補正予算
- 3P 一般会計当初予算・特別会計当初予算
- 4P 審議案件と議決結果
- 5P 主な質疑・討論
- 6P 上勝小学校6年生による議会訪問について
- 7P 一般質問 5名が町政について質問
- 12P まちのようす

撮影：前田議員

令和8年3月定例議会 補正予算の主な内訳

第1回
定例会

専決第1号 令和7年度 一般会計補正予算 (補正第4号)

開 会 期
会 会 日
令 令 10
和 和 日
8 8
年 年
3 3
月 月
19 10
日 日

補正額 (追加) **3,432万円** 総額 **43億1,409万円**

- 主なもの
- 総務 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業費
物価高騰対応生活者支援給付金 1,288万円
同 非課税世帯生活支援給付金 300万円
 - 衛生 ゼロ・ウェイスト推進費
ごみゼロ(ゼロ・ウェイスト)推進基金積立金 563万円

令和7年度 一般会計補正予算 (補正第5号)

補正額 (減額) **3億2,334万円** 総額 **39億9,075万円**

- 増額の
主なもの
- 消防 非常備消防費 備品購入費(地域未来交付金事業)
スポットクーラー、ワンタッチテント等 5,600万円

- 減額の
主なもの
- 総務 財産管理費 業務委託料(自治体システム標準化) △9,497万円
使用料(クラウド利用料) △963万円
 - 土木 道路新設改良費 工事請負費(交付金) △6,579万円

国民健康保険(事業勘定)特別会計補正予算(補正第4号)

補正額 (追加) **371万円** 総額 **2億3,095万円**

- 主なもの
・ 諸支 直営診療施設勘定繰出金
上診特別会計繰出金 **354万円**

国民健康保険(診療施設勘定)特別会計補正予算(補正第3号)

補正額 (追加) **354万円** 総額 **1億2,554万円**

- 主なもの
・ 予備費 (国保会計繰入金ほか相当) **389万円**

国民健康保険(福原診療施設勘定)特別会計補正予算(補正第3号)

補正額 (追加) **17万円** 総額 **2,078万円**

- 主なもの
・ 予備費 (国保会計繰入金ほか相当) **63万円**

簡易水道事業会計補正予算(第1号)

● 簡易水道事業費用 委託料	補正額(減額) △ 181万円	総額 5,277万円
● 資本的収入 他会計補助金	補正額(追加) 121万円	総額 1,562万円
● 資本的支出 工具器具及び備品購入費	補正額(追加) 181万円	総額 2,048万円

令和8年度 一般会計当初予算

総額 **36億2,000万円** 前年度より1億円(2.7%)の減額

主な事業(投資的なもののみ掲載)

● 道路新設改良事業	2億2,776万円	● 非常備消防費	9,103万円
● 森林基盤整備事業	1億3,268万円	● 国土調査事業	8,984万円
● 地域おこし協力隊事業	1億1,071万円	● 地方創生道整備推進交付金事業	5,892万円
● 町営住宅整備事業(野尻)	9,162万円	● 代替バス事業	4,861万円

令和8年度 特別会計当初予算

総額 **7億3,206万円** (下記各千円単位切捨後の計)

● 国民健康保険(事業勘定)	2億1,211万円	● 奨学資金	168万円
● 介護保険	3億2,482万円	● 後期高齢者医療	4,963万円
● 国民健康保険(診療施設勘定)	1億2,000万円	● 高鉾財産区	382万円
● 国民健康保険(福原診療施設勘定)	2,000万円		

令和8年度 公営企業会計当初予算

● 簡易水道事業 (収益的収入)	収入	6,111万円
	支出	5,492万円

(上記各会計：千円単位切捨て記載)



上勝町副町長の選任について

ひらばたみつひろ
平 昌 充 祐 生年月日 昭和50年12月5日

任期 令和8年4月1日～令和12年3月31日

令和8年

第1回上勝町議会定例会 審議案件と議決結果

(第3日) 令和8年3月19日(木)

○:賛成 ×:反対 一:議長が賛否に加わっていない場合

議案番号	件名	質 疑	討 論	結 果	片 山 政 紀	新 田 勝 憲	平 原 美 和	関 康 昭	前 田 敏 宏	日 下 一 茂	岡 本 明	高 石 雅 弘
議案第1号	専決処分の承認を求めることについて(専決第1号 令和7年度上勝町一般会計補正予算(補正第4号)について)	無	無	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第2号	上勝町犯罪被害者等支援条例の制定について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第3号	常勤の特別職の給与及び旅費支給に関する条例の一部を改正する条例について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第4号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第5号	職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第6号	職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第7号	上勝町介護保険条例の一部を改正する条例について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第8号	上勝町火災予防条例の一部を改正する条例について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第9号	令和7年度上勝町一般会計補正予算(補正第5号)について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第10号	令和7年度上勝町国民健康保険(事業勘定)特別会計補正予算(補正第4号)について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第11号	令和7年度上勝町国民健康保険(診療施設勘定)特別会計補正予算(補正第3号)について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第12号	令和7年度上勝町国民健康保険(福原診療施設勘定)特別会計補正予算(補正第3号)について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第13号	令和7年度上勝町簡易水道事業会計補正予算(補正第1号)について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第14号	令和8年度上勝町一般会計予算について	有	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第15号	令和8年度上勝町国民健康保険(事業勘定)特別会計予算について	有	有	原案可決	○	○	×	○	○	○	○	—
議案第16号	令和8年度上勝町介護保険特別会計予算について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第17号	令和8年度上勝町国民健康保険(診療施設勘定)特別会計予算について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第18号	令和8年度上勝町国民健康保険(福原診療施設勘定)特別会計予算について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第19号	令和8年度上勝町奨学資金特別会計予算について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第20号	令和8年度上勝町後期高齢者医療特別会計予算について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第21号	令和8年度上勝町高鉾財産区特別会計予算について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第22号	令和8年度上勝町簡易水道事業会計予算について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第23号	上勝町過疎地域持続的発展計画の策定について	無	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第26号	上勝町副町長の選任につき同意を求めることについて	無	無	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	—
諮問第24号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	無	無	原案推薦可	○	○	○	○	○	○	○	—
諮問第25号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	無	無	原案推薦可	○	○	○	○	○	○	○	—
—	委員会の閉会中の継続調査について			承認								—
—	寄附の申し立てについて			報告								—

主な質疑・討論

上勝町議会 第1回定例会

議案第14号 令和8年度 上勝町一般会計予算につ いて

問 平原議員

ゼロ・ウエイストPRイベント業務についてPRは十分したのか。参加された方からはとても手応えのある印象だと聞いているが、PRにとどまり、町内に人を呼び込むことにつながっていないと指摘がある。今年はこのよう計画で活動していくのか。

答 清井参事兼企画環境課長

本年度は5月に開催し、当日アンケートとニーズ調査をしたり、移住については、直接参加された方が移住までにつながっていないが、少しずついろいろな場面で交流人口は増えていると思う。

問 平原議員

町内から参加となる人的な数字については、どの程度までとめているか。

答 清井参事兼企画環境課長

今年度は(株)スペースックで進めている。

商工会を通じ、物販の人員、商品等、調整中。商工会も含め農家さんとで3名から4名程度になる。

尚、今年は平日の開催なので大学生が参加できるように三菱地所の運用状況等の見学も調整している。

問 平原議員

昨年から今年にかけての予算上昇の要因は物価上昇によるものか。

答 清井参事兼企画環境課長

フューチャービアガーデンについては、三菱地所から1250万円の予定で話をしているが、物価高騰、特に資材等も上がりこの金額ではできない見通しだ。開催スペース

も昨年とは場所や広さが変わり、ビジネス街で人通りの時間帯も違う。寄附金を有効に活用して上勝町のPRを実施したい。

問 日下議員

地域おこし協力隊で、3年間補助の後、どれくらい上勝町に残っているか。

答 清井参事兼企画環境課長

令和8年3月31日付で退任する者を含め、30人中14人が定住している。定住率は47%である。

問 岡本議員

企業人材確保事業とはどういう内容で、どこに委託するのか。

答 清井参事兼企画環境課長

上勝町の農業の後継者をつくるということで、人材を呼び込んで、インターン事業を行っている。農業研修生のサポート事務局として(株)いろどり委託している。

問 岡本議員

ゼロ・ウエイストチャンネル動画作成は何本か。どのようなものを撮るのか。

答 清井参事兼企画環境課長

6本の動画等を作成する計画である。内容は、紙おむつ炭化装置、一般廃棄物の運搬支援、空き家、茅葺き学校体験等を取材して、動画を発信していきたい。

問 岡本議員

原材料費木製ベンチは何台作って、どこに設置するのか。

答 清井参事兼企画環境課長

東京の三菱地所の工事後が公園となる予定で、そこに上勝産の松を使ったベンチを2台置く予定である。

議案第15号 令和8年度上勝町国民健康保険(事業勘定)特別会計予算について

問 平原議員

町民が支払うべき標準保険料は下がっている。今後基金の取崩しなどによって、将来の保険料の急騰を招くということにならないか。

答 山口税務課長

現在上勝町では、被保険者は県の納付金額に基づいて納付している。

問 平原議員

子ども、子育て支援金は3年にわたり引き上げられていく予定である。その点に関しては町としてどのような見解か。

答 山口税務課長

子ども、子育て支援金は国の制度に基づいて納めるものである。

国の制度に基づいて賦課徴収する予定。

討論

反対 平原議員

国民健康保険料の引上げは、低所得者や生活者に重い負担を強いる仕組みであり、物価高騰や社会保険負担の増加と相まって暮らしを圧迫する。また、本来は公費で支えるべき子育て支援財源を保険料に上乗せする制度設計にも問題があるため、持続可能性の確保は国・県の財政支援で図るべきである。

採決 賛成6 反対1 可決

上勝小学校6年生による 議会訪問について

- 1、視察受入日** 令和8年2月24日(火) 午前9時45分～11時00分
 - 1) 町議会見学に伴う議会对応(30分) 副議長、議員、事務局
 - 2) 小学生からの提案(テレビ使用45分) 上勝小学校6年生
- 2、場 所** 役場3階 第1会議室・議場
- 3、目 的** 上勝小学校6年生議会訪問に伴う対応
- 4、訪 問 者** 上勝小学校 児童7名(6年生)
 - // 校長 亦川 隆雄 先生
 - // 教員 米沢 敏郎 先生
 - // 教員 川西 敦子 先生
- 5、対応議員**

副議長	前田 敏宏	議 員	関 康昭
議 員	岡本 明	議 員	新田 勝憲
議 員	日下 一茂	議 員	片山 政紀

上勝小学校6年生による議会訪問が行われた。

当日は、前田副議長による歓迎挨拶の後、児童の皆さん一人ひとりが自己紹介を行い、「議会事務局」「議長室」「議員控室」を巡回見学し、議場では実際に議員議席へ着席。

事務局より、本会議における答弁の流れや議会の仕組みについて説明を行い、続いて第1会議室へ移動し、町議会の役割や議員の仕事について理解を深めてもらうため、説明を行った。また、テレビ、タブレットを活用し、小学生の皆さんから未来の上勝町に向けた提案発表もあり、町産材を活用したフォレストアドベンチャー・ツリーハウスの建設、子どもたちの遊び場が不足している現状についての報告など、地域の将来を真剣に考えた意見が述べられた。

子どもたちの柔軟な発想と主体的な姿勢に、参加した議員一同、大いに刺激を受ける機会となった。





片山政紀 議員

問 本町における自主防災組織の現状について

総務課 本町の自主防災組織は11団体で組織率は81.65%

本町における自主防災組織の現状について

問 近年、全国各地で地震や豪雨などの自然災害が頻発しており、災害への備えの重要性がますます高まっている。特に、大規模災害が発生した場合、行政における公助だけでは十分に対応するのは難しく、地域住民による共助の力が大きな役割を果たすと言われている。その中心となるのが自主防災組織であり、日頃から地域で防災活動を行い、いざというときには住民同士が助け合う体制を整えておくことは地域の安全・安心を守る上で大変重要であると考ええる。

答 そこで、本町における自主防災組織の現状について、幾つぐらいの組織が結成されていて、その結成率はどの程度か。そして、実際の活動についてはどうか。

答 久保総務課長
現在、本町では11団体の自主防災組織が組織されており、うち各地区の

名全体で運営している団体が7団体、名以外の地域、地区が運営している団体が4団体となっている。組織率については、町内全世帯数に対する組織済みの地区の世帯数で計算すると81.65%になっている。具体的な内訳としては、傍水、福原、旭、福川、柳谷については全地区結成済み。藤川地区のうち上寺内、中津賀の2地域が結成済み。生実地区においては瀬津、野尻が組織済みになっている。活動状況は、最近はほとんど活動ができていない状況ではあるが、組織を再編して独自の訓練や他団体との事業を連携するなど、積極的に計画、活動している団体もある。

問 人口の少ない本町において、これほどの高い結成率だと、消防団員と重複して活動している方も多数いると思う。災害が起った場合に自主防災組織と消防団では活動の内容が異なってくる。そのような時、混乱が起きないように行動指針があるか。

答 久保総務課長
自主防災組織と消防団の両方に所属する者に対し、国や県が示した具体的な行動指針はない。非常備消防の本町にとっては、有事のときには消防団としての活動を優先することに。自主防災組織では、平時の活動や点検については、消防団活動で得た経験や知識を自主防災組織へ還元してほしい。

答 久保総務課長
まず、町が定めている防災計画については、災

害時において町が取る行動等示すもので、自主防災組織の具体的な行動は示さない。

答 これは別に、地区防災計画が存在する。これは、住民や事業者が地域特有の災害リスク等に基づいて、自助、共助の防災活動を主体的に決める計画で、地域住民が自ら作り上げる計画である。この地区防災計画を作成したいという地域があれば、町として可能な限り、素案作りや策定に伴う勉強会等を手伝いたい。

県道の融雪剤散布の現状について

問 積雪時に県道等を走行したとき、場所によって融雪剤を散布する時間が違う。融雪剤の散布の現状は、どうなっているのか。

答 笹尾建設課長
県道徳島上那賀線については、県が地元の建設業者3社と除雪等凍結対応業務に関する覚書を締結している。区間ごとに担当業者が違うため、

散布方法や作業開始の時間差がある。

紙おむつ炭素化装置の設置状況について

問 紙おむつ炭素化装置の設置が予定より遅れているが問題が発生したのか。

答 清井参事兼企画環境課長
花王(株)において、安全性をより確実に担保するために、その確認作業に時間を要していることから、当初想定していた設置時期より調整が生じている。現在は、最終調整段階であり町民の安全を最優先に、慎重に確認が進められている。

問 今後、実証実験等に影響はあるのか。

答 清井参事兼企画環境課長
今後に必要な情報提供を相互に行い、連携して進めるので、実証実験に影響はないと考えている。

問 福原平間地区における行政窓口の集約



新田勝憲 議員

福原平間地区における行政窓口の集約

問 平間地区に関係する担当課は、総務課・産業課・建設課・企画環境課・教育委員会と多岐にわたっている。そのため、住民にとっては手続きや相談内容に応じて複数の窓口を訪れる必要があり、時間的・心理的負担が大きい状況にある。また、各課が個別に対応することで、行政運営の効率性の観点からも改善の余地があると考える。平間地区に関する行政窓口を可能な限り一ヶ所に集約して頂きたい。窓口を集約することにより、住民の利便性の向上、行政コストの削減、職員配置の効率化といった効果が期待できる。

答 久保総務課長
行政窓口を一か所に集約させた場合は、中継ぎ的な役割としての運用になる。質問や手続きの内容にもよるが、専門的知識を必要とする場合は窓口での対応は困難となる。回答に対する再質問があった場合はさらに時間がかかる。福原平間地区だけに対応する窓口を設置すると、コスト面では負担が増える。福原平間地区以外にも、担当課が複数にまたがる地域もある。福原平間地区だけに行政窓口を一本化させることは、現実的に困難である。

役場においても、問い合わせ先等が分からないと言った場合は担当課への案内を引き続きさせていただきます。

(株)もくさん裏の側溝及び排水状況について

問 ゴミステーション計画時において、当該箇所の排水口に水は流れず、地下へ浸透している可能性がある旨を指摘した経緯がある。当時、役場において調査が実施され、担当者から報告を受けている。しかしながら、ゴ

ミステーション建設から6年が経過している。この間、地盤状況や排水機能に変化が生じている可能性は否定できない。よって、町民の安全・安心な生活環境を確保する観点から、(株)もくさん裏の側溝及び排水状況について、改めて現地調査を実施し、現状を確認しておくべきではないか。

答 笹尾建設課長

(株)もくさん裏にある側溝及び排水状況は、旧県道沿い横の三方張り水路に流れているため、正常に機能していると思う。

現在降雨量が少ないため、側溝からの水は少量であることから、またまった雨量があった際に側溝が機能を有しているか確認する。

問 当時、役場からの説明は、水が地下に入っていると聞いていた。

ゴミステーション側から土地が、(株)もくさん側に移動しているので、大

丈夫との返答であった。現実には、排水口に水が流れていない。もう一度、確認をお願いする。

答 笹尾建設課長

(株)もくさん裏にある谷から流れてきた水は、横の三方張りの水路に流

れている。また、(株)もくさんの横の側溝の水も三方張りの水路に流れているので、機能を有しているという判断をした。



(株)もくさん裏にある三方張り



日下一茂 議員

問 福原診療所閉所の 住民への説明は

診療所
事務長

令和8年度末をもって 閉所する方向で説明する予定

問 福原診療所閉所について住民に説明はできているのか。

答 長木診療所事務長

地域住民の身近な医療機関として診療を行ってきた。しかし、地域の過疎、高齢化の進行による受診者の減少、また医療従事者の確保など課題もあり、現状の診療体制の維持が難しい状況となってきた。このような状況を踏まえて、福原診療所はその役割を終えたと判断して、令和8年度末をもって閉所する方向で整理している。

今後の動き、住民への周知は、広報誌の4月号への関連記事の掲載による情報提供、あと6月に実施予定である名総代会での説明、そして実施時期は未定だが福原地区を対象とした説明会を実施する予定。また8月に国民健康保険運営協議会を開催する時に、委員の意見を聴取した後に議会において関連する議案の上程を予定している。もし

福原診療所について

閉所となった時は、福原診療所で現在、受診されている方の不安が生じないよう、医師を中心とし、関係者と連携して、個別に相談対応していく。

要望 命を守る診療所がなくなるのを住民の方に納得していただける施策をお願いする。



福原診療所

いつきゅう茶屋下の木の伐採について

問 材木の処分はどのようにしているのか。代金はどのような割合になっているのか。

答 佐々木産業課長

県道沿いの伐採された材木は森林組合の貯木場



いつきゅう茶屋下

までの搬出運搬費用を町の事業として経費計上している。運搬された材質によって単価は違うが、森林組合で材木の売上額から必要経費を差し引いた金額が所有者へ支払われているようだ。

移動式鳥獣処理車について

問 最終使用日はいつか。

答 佐々木産業課長

3月17日。

問 メンテナンスはどのように行っているのか。

答 佐々木産業課長

車両と設備に分けて行

っている。車両はイスズ自動車中国四国(株)で定期的に行っている。設備全般は定期的に(株)芝原が点検している。使用中に気になることがあった場合は、その都度見に来てくれる。清掃や恒常的な維持管理は担当者を中心に実施している。

問 設備の点検に(株)芝原は何回来たのか。

答 佐々木産業課長

資料はないが、概ね2ヶ月に一度程度は最低は来ていると思う。

問 錆が出ているが、2ヶ月に一度点検に来てくれる(株)芝原は把握しているのか。保証期間は。

答 佐々木産業課長

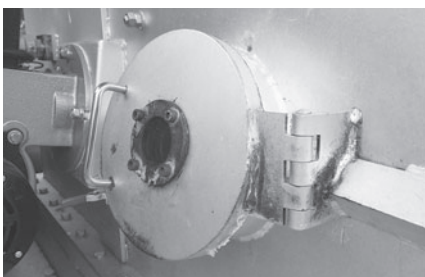
錆の問題はステンレスの囲いをしていないが、全方向は囲っていない。その上、屋外での保管なので、雨や湿気の影響により多少の錆が発生する。ある程度は仕方がないが日頃のメンテナンスを行いつつ、適切な運用を行いたい。設備全般の保証

期限は購入日から2年間で令和9年5月6日だ。

問 高額な設備なので、この件について、町長の考えは。

答 花本町長

構造上、錆は当然だ。炉は鉄でないと無理だ。高温800度で使用するので温度差もかなりある。それに対応するのは錆びにくいステンレスでは無理だ。ただ囲えるところは二重囲いをしてある。全方向囲っていないのでやむを得ない。



移動式鳥獣処理車

問 入学祝い金の早期給付を



平原美和 議員

入学祝い金の早期給付と子育て世帯の負担軽減を

問 入学準備に間に合うよう早期給付はできないか。

答 高橋教育委員会

事務局長兼支所長
これまで5月中旬に支給してきたが、今後他の自治体を参考に変更に向けて検討していく。

変更に向けて検討していく

委員長
事務局長
兼支所長

問 全国では3割以上の自治体が給食無償化に取り組み、青森県では県内全ての小中学校の給食無

答 高橋教育委員会

事務局長兼支所長
就学援助などにより、支援の必要な家庭には十分配慮している。

問 子育てにおいて学校給食費用5000円の場合年間6万円、義務教育の9年間で約54万円になる。無償化された自治体と比べ、上勝での子育て世帯の負担は重い。学校給食をはじめとした教育費の保護者負担をどのように考えているのか。

答 立川教育長

学校給食は教育の一環であることは間違いないので、町も負担はしている。本町では国の動向を注視する。

問 学校給食は教育の環境ではないのか。

答 高橋教育委員会

事務局長兼支所長
町独自の無償化は考えていない。

無償化が実施されている。すでに給食無償化は就学援助を必要とする家庭以外にも、義務教育において当たり前の制度になりつつある。県内でも、三好町、神山町、佐那河内村、つるぎ町など無償化に取り組み、鳴門市でも中学校の無償化の動きもある。近隣自治体において格差が生じている。国を待たずに、無償化の実施を。

中学校部活動の地域展開とより良い活動環境を

問 部活動の地域移行の課題は何か。

答 立川教育長

指導者の確保や移動手段の確保など課題が多く、地域の実情に応じた対応が必要である。

問 今後の方針は。

答 立川教育長

国や県の動きを踏まえ、できる範囲で支援を行っていく。

公園・図書館等遊び場づくりの進捗について

問 SDGs推進会議や

住民から「安心して遊べる・集える場所が不足している」との声が上がっている。屋内の居場所や年齢に応じた安全な遊び場の整備は、子育て世帯の定住促進と健全育成に不可欠な課題である。進捗状況は。

答 清井参事兼企画環境課長

令和7年度は先進的な公園施設の情報収集を行い、次年度(令和8年度)は遊具メーカーと情報共有し、連携や設置場所の決定を進めよう、具体的に進めていきたい。ハード面の整備だけでなく、

みんなが集える場には運用(ソフト)面も必要。他の自治体や民間の成功事例を参考に進めていく。

要望 いつ着手し、いつ完成するのかという期間の目安を明確に。町民が計画の進捗を実感できる

よう、プロセスの「見える化」を図りながら着実に進行することを求める。

第二期ゼロ・ウェイストタウン計画と資源分別ガイドブックについて

問 ガイドブックの改訂の目的とおもな変更点は。

答 清井参事兼企画環境課長

使用済み紙おむつが焼却から半炭素化物へ資源化されたことにより14種類、44分別となることや、キエーロが補助対象となったこと、パソコン回収可、小型家電の分別や特定家電、小型家電の自宅回収サービスの利用ができるようになったことなど。

2030年のゼロ・ウェイスト宣言達成に向けたロードマップである。令和4年度から開始し、

目標まで残り5年という折り返し地点を迎えた。今年度、事業の方向性を確認・修正し、より具体的な内容を盛り込むための「中間見直し」を行なっている。

問 ゼロ・ウェイスト政策は町にどのような価値をもたらしているのか。

答 花本町長

ゼロ・ウェイストをコンセプトとした事業所の誕生や、それに共感した移住者の増加という成果が出ている。既存の事業所においても、この取り組みを商品開発や集客に活かす動きが生まれており、町の活性化に大きく寄与している。

要望 ゴミステーションだけの運動にとどまらず令和8年度予算においても、無駄のない「ゼロベイス」の精神に基づいた執行を求める。



岡本 明 議員

問 移住者向けに上勝体験ツアーを 行っては(上勝小学校6年生)

兼 環 境 課 長 兼 事 業 課 長 兼 企 画 課 長 移住ツアーや交流会も やって行きたい

2月24日小学校議会訪問
6年生からの
3つの提案について

問 フォレストアドベンチャー上勝と名前を付け杉の中を駆け抜けたり、ロングジップスライドなど、山の中で遊べる所を作ってはどうか、という提案があったが。

答 佐々木産業課長

森林を活用した、体験型施設として全国各地で注目されている取り組みだと認識している。課題は、施設設備だと思われ、安全対策や管理体制、立地条件及び所有者との交渉、費用対効果、周辺環境への配慮など、様々な観点から現時点では出来ない。

問 空き家と田んぼをセレクトで買い上げ、リフォーム後に販売は出来ないか。

答 清井参事兼企画環境課長

制度上、町が農地を購入する事ができないし、町が家屋や農地を借り上げて販売する事は難しい。

問 上勝体験ツアーなどを実施し、移住促進を進められないか。ツアー1日目は、町内の移住者から上勝の紹介や、希望者の相談会を行う。2日目は上勝の観光など、町内を一緒に回り、説明をする。3日目と4日目は、喫茶店や椎茸栽培などの仕事の紹介、色々な現場を巡るツアーをしては。

答 清井参事兼企画環境課長

昨年、10月12日、13日の2日間実施した。ゼロ・ウェイストセンターでの町制70周年記念事業「上勝の暮らしに触れるツアー」では、移住に関心がある10名が東京、愛知から参加し、町営住宅の見学、町内に住む移住者から日常の話を聞いたり、町の暮らしがどのようなものであるかを知っていただける機会があった。提案いただいた移住体験ツアーも、町内事業者の意見をいただきながら検討したい。

福川地区河川工事 について

問 予算がついたと話を

聞いたが、今後の計画は。

答 笹尾建設課長

令和8年3月から、左岸側から工事に着手しており、順次工事を進めて行く。また、右岸側の用地取得についても、順次進めて行くと聞いている。

問 以前質問し、要望もしていたが、ポンプ車が入れる道は怎么样了なのか。

答 笹尾建設課長

道幅は狭いが、現在下りられるようになっていく。また、舗装、河川との接合部分が砂利となっているが、車が入れるような設計にしていると伺っている。

ヘリポートについて

問 正木ダム公園を利用すれば、自衛隊のヘリコプターが下りられる広さが確保できると思うが、県はどう考えているのか。

答 久保総務課長

図面上で確認したが、40メートル級のヘリポートを設置するとなると、

かなりの構造が必要となり、町道もあることから、地理的に難しいと聞いている。

市宇樫原線開設 事業について

問 市宇地区の水の確保のため、市宇樫原線開設工事を中断し、先に八重地に向かって開設していただきたい。八重地側には谷があり、水の確保ができると思うが。

答 笹尾建設課長

開設事業を中断すると、事業の継続性がなくなることから、財源基準も満たさなくなり、過疎債などの割り当てがなくなるため、路線変更はできない。

消防団員の服について

問 法被が古くなったので、新しくする考えはないか。

答 久保総務課長

現在使用している法被は、買い替えを行う予定はない。今後は、活動服の上着で対応をお願いし

たい。

問 消防団員との話の中で、現在支給されているヘッドライトが、暗くて見えにくい。もう少し明るくて大きな物に変更してほしいとの要望を聞いたが対応は。

答 久保総務課長

支給したヘッドライトは、型遅れになり、新しい型番になっている。明るさについては、値段等にもよるが、予算とも相談しながら検討していく。

その他質問

- ・ 町営バス車庫の移転について
- ・ 補正予算繰越金について
- ・ 第三セクターについて
- ・ 地域おこし協力隊について
- ・ 交付金の使用について
- その他要望
 - ・ 小中学校体育館のジェットヒーターの追加購入の要望
 - ・ 火災現場への一般車両の乗り入れ禁止の要望



小学校卒業証書授与式



中学校卒業証書授与式



彩公園(南岡)



月ヶ谷温泉さくら(福原)



さくら(生実)



寿会(旭)



雄淵

うらかな春の日差しが心地よい季節となりました。

令和8年度上勝町一般会計予算はじめ各予算が議会にて承認され、新年度がスタートしました。

町内においては、草刈りに追われ、また田畑の準備も始まります。安全対策を十二分に。

「議会だより」作成、編集に当たり、先輩議員に教わりながら、町民のみなさんが、読みやすくなるように努めております。

(新田)

編集後記